令和７年度　上尾市立上平中学校

学　校　経　営　方　針

校長　　林　孝安

１　学校経営の基本方針

（１）教育公務員として
法令を遵守し、国、県、市の教育振興基本計画の趣旨を踏まえ、全教職員の総力を結集し、学校教育目標の具現化を目指す。

（２）教師として
常に謙虚で、誠意ある姿勢をもって職務に励み、保護者や地域社会の負託に応える。

（３）未来を担う人づくり
学校・家庭・地域が一体となって、生徒一人一人の夢（目標）の実現を支援する。

２　学校教育目標

「自立」　「共感」　「協働」

３　目指す学校像

夢を実現するための基礎・基本を学ぶ学校

○ 学力を着実に向上させていく学校
○ 思いやりの心を持ち、共に高め合う学校
○ 主体性を伸ばし、自分を成長させる学校
○ 歌声と笑顔が広がり、心身共に元気な学校
○ 地域とともに歩み、家庭・地域から愛される学校

４　目指す生徒像

○ 自ら考えて学習に取り組み、学力を伸ばす生徒
○ 相手を大切にし、思いやりの心を持つ生徒
○ 心と体を鍛え、運動に親しむことができる生徒
○ 自分で考えたことをしっかり行動できる生徒
○ 礼儀正しく、あいさつがしっかりとできる生徒

「繰り返し学習」日々の積み重ねで「５つの力」を身に付ける
・継続する力　　・集中する力　　・あきらめない力
・丁寧にする力　　・自分で調べる力

５　目指す教師像

○ 生徒の持つ力を引き出す意欲と指導力のある教師
○ 生徒一人一人に寄り添い、より良い方向へと導く教師
○ 自分を見つめる目を持ち、謙虚に学び続ける教師
○ 「チーム上平中」を念頭に、同僚と共に学び合い、高め合う教師
○ 危機管理意識を持ち、教育公務員としての誇りと自覚を持つ教師

教師の行動指針

― 教師が生徒の手本となって教育活動にあたります ―

◆ 教師・人としての自分を顧みながら職務を遂行します。
◆ 教員相互で「目・声・気（心）」を掛け合い、助け合います。
◆ 「付かず・離れず・諦めず」の姿勢で、熱意と愛情で指導にあたります。
◆ 「良いものは良い、ダメなものはダメ」の姿勢で生徒指導にあたります。
　→特にいじめや暴力は絶対にダメとの認識に立ちます。
◆ 日々の授業を大切にし、さらなる向上を追求します。
◆ 責任と誠意を持ってタイムリーに校務を遂行します。
◆ 誰に対しても気持ちの良い応対（接遇）に努めます。

「繰り返し指導」日々の授業で「５つの実践」を心掛ける
・規律ある授業の確立
・正確に理解し、適切に表現する資質・能力の育成
・家庭学習(予習･復習)を生かす授業の創意工夫
・ＩＣＴの積極的な活用
・個別学習・補修学習

６　令和７年度の具体的な取組

〔めざす生徒像・学校像の具現化へ向けての視点や道筋〕

（１）自ら考えて学習に取り組み、学力を伸ばす生徒を育てるために

① 学習にしっかりと向き合い、継続してやりきる力の育成

○ Ｋ－タイム（朝読書）の充実
○ 授業規律の徹底
○ 家庭学習の充実（ICT 機器の効果的な活用）など

② よりよい授業を追求（授業改善） **重点**

○ 生徒にとって「主体的・対話的で深い学び」となる授業改善

※ 「あげお学びのイノベーション」の推進
　・ ＩＣＴ端末、生成ＡＩの効果的な利活用
　・ 情報モラル教育の充実

③ 公正・公平で適正な評価・評定による三つの資質・能力の育成

○ 評価、評定の方法や内容の明示
○ 評価材料の蓄積と整理
○ 指導と評価の一体化
　（指導したことは必ず評価、評価したことから授業改善）など

（２） 相手を大切にし、思いやりの心を持つ生徒を育てるために

（※いじめや不登校の未然防止に資する取組）

① 学級経営の充実（ハードもソフトも「きれい」「安心」「安全」な学級）

○ 規律ある／活躍する／認め合う「場」づくり
○ 教職員間の協力と創意工夫を生かした学級経営の充実
○ 学校生活の意欲や満足度を測る生活アンケートの実施　など

② 道徳教育の着実な実施 **重点**

○ 道徳教育部を中心に学校全体として共通歩調で道徳教育を推進
○ 授業参観（年間１回）での道徳科の授業公開
○ 研修会の実施（示範授業、授業研究、評価の方法）　など

③ 人権教育の推進
○ 教育活動全体において人権問題の理解と人権感覚の育成
○ 教員研修による人権課題の理解と実践力の向上
重点課題：同和問題・児童虐待・ＬＧＢＴＱ・ヤングケアラー

（３） 心と体を鍛え、運動に親しむことができる生徒を育てるために
① 健康教育の充実 重点
○ 食事、睡眠、運動の重要性を教えるための講演会の実施。
○ ストレス解消法や心のリフレッシュ方法についての授業実施。

② 保健体育の授業の充実
○ 全学年全クラスにおいてチームティーチングの実施
○ 安全な運動環境の確保

（４） 自分で考えた事をしっかりと行動できる生徒を育てるために
① 総合的な学習の時間の再構成
○ 教科等横断的、ＳＤＧｓ、シティズンシップ教育の視点を踏まえたカリキュラム・マネジメントの実現
○ シティズンシップ教育に係る研修の実施

② 生徒会活動の充実（主体的な活動を促す指導の工夫） 重点
○ ＰＤＣＡサイクルに沿った生徒主体の委員会活動の充実
問題の把握→課題解決の方策を考え→取組・実践→振り返り
○ 生徒会主催行事の充実（上中祭・生徒総会等）
○ 校則や学校のきまりの改定

③ キャリア教育の充実
○ 各学年において将来の目標や「夢」について考える取組
「キャリアパスポート」の活用、講演会や職場体験学習などの充実

④ 当事者意識を持った危機管理能力の育成
○ 交通ルールやマナーの指導の工夫（委員会等でのキャンペーンなど）
○ 避難訓練の工夫（告知なし訓練　など）

⑤ 「ノーチャイムの上平中」の定着
○ 一人一人が時間を意識した生活を送るための指導・取組

（５） 礼儀正しく、あいさつがしっかりとできる生徒を育てるために
① 上平中スタンダード「K-Style」の徹底
○ 学期はじめにオリエンテーションを実施
○ 全職員の共通理解に立った共通行動
○ 内容の精選と更新　など

② 時と場に応じた行動の徹底
○ 全職員・全生徒が目的と内容を共通理解した実施

③ あいさつの励行 重点
○ 朝のあいさつ運動や様々な場でのあいさつ指導の充実

（６） 個別に課題を抱える生徒への支援の充実

① 個別支援ルーム（レインボールーム）による支援の充実 **重点**

○ 生徒指導支援教員を決め、教育相談部会や担任、教科担当、さわやか相談室相談員と協働して、主に以下の支援を行う。
- ・登校から下校までの学習・生活支援
- ・ＳＣ、ＳＳＷ等との連携による専門的アプローチからの中・長期的な視野に立った自立支援
- ・授業の遅れのフォローや学び直しの機会の提供

○ 利用しやすい環境整備（室内・教材・ＰＣなど）

② 生徒指導委員会及び教育相談部会の機能充実

生徒指導上の諸課題（暴力行為、いじめ、不登校等）に対する
○ 現状報告等、情報交換に止まらない具体的な支援策の検討
○ 対応策だけでなく未然防止策の検討　など
- ・いじめの積極的な認知と解消に向けた見届け

③ 特別支援教育の視点による指導、支援の充実

○ 特別支援教育に関するさらなる理解に資する研修会の実施
○ あおぞら学級との連携協働（授業参観や授業参加など）
○ ユニバーサルデザインの視点に立った授業の展開　など

④ 必要に応じた関係機関との積極的な連携

○ 教育センター、特別支援学校、児童相談所、医療機関、警察等と連携したケース会議の実施　など

（７） コミュニティ・スクール（地域とともにある学校）として実効性のある学校運営協議会（年５回）

① 学校と地域との関わり・ふれあう機会の充実 **重点**

② 地域と学校のニーズを相互補完できる取組

○ 「地域から学校へ」の取組だけでなく、「学校から地域へ」の取組

（８）新型コロナウイルス等の感染症への対応

①感染症に関する適切な知識・理解を踏まえた、感染予防の指導及び柔軟な教育活動の展開

- ・感染予防を意識した取組
- ・学習や活動の取組方法の工夫

（出席停止等の生徒を対象としたオンライン授業等）

②感染症防止の意識を持った行動（生徒・教職員）

- ・日々の健康管理及び健康観察
- ・こまめな手洗い、うがい、マスク着用など